

# 豚コレラをめぐる県内の状況等について

令和元年8月22日  
農業技術課  
農村振興課

## 1 県内における感染状況

※下線部は、8月9日の記者会見以降の動き

### (1) 野生いのししにおける感染状況

- 7月30日の死亡いのししからの陽性反応確認以降、死亡いのししに加え、陽性反応を確認したいのしし発見地点を中心とした半径10km以内及びその周辺地域で捕獲された野生いのししについて、豚コレラの感染状況の調査を実施。
- 県内では、これまでに5頭の野生いのししから豚コレラ陽性反応を確認(8月21日現在)  
富山市:1頭、砺波市:3頭、南砺市:1頭

【参考】7月30日以降の野生いのししの豚コレラ検査状況(単位:頭)(8月21日現在)

区分	陽性	陰性	計
死亡いのしし	3	1	4
捕獲いのしし	2	21	23
合計	5*	22	27

※上記陽性5頭が該当

### (2) 養豚農場の状況

#### ア 監視対象農場における状況

豚コレラ陽性いのししが発見された地点から半径10km圏内に位置する5農場(※)を農林水産省の通知に基づき監視対象農場とし、飼養豚の異常の有無について、毎日、県へ報告を求めている。現在のところ、全ての農場で異常なし。

- ※①富山市葛原地内の野生いのしし陽性個体(R元7.27発見)の発見箇所を中心とした半径10km圏内の農場 3農場
- ②砺波市庄川町庄地内の野生いのしし陽性個体(R元8.1発見)の発見箇所を中心とした半径10km圏内の農場 2農場

#### イ その他の養豚農場における状況

- 所管の家畜保健衛生所職員が、7月29日(月)から7月31日(水)までに立入検査を実施し、異常がないことを確認。
- それ以降、定期的に巡回指導を実施中。現在のところ、全ての農場で異常なし。

## 2 感染拡大防止対策の実施状況

### (1) 養豚農場における防疫対策の強化

- 全ての養豚農場に対し、飼養衛生管理基準の遵守を徹底するよう、巡回指導時等において改めて指導

- 野生いのししの侵入防止柵の整備状況は次のとおり
  - 県の豚コレラ緊急対策事業前に整備済 6 農場
  - 県の豚コレラ緊急対策事業により整備 10 農場  
(整備完了=6 農場、8 月下旬を目途に完了=4 農場)
  - 電気柵などの自己施工等で対応 3 農場

## (2) 野生いのししの捕獲強化

- 富山市及び南砺市において、捕獲わなの増設分（105 基）を発注済
- 富山市、南砺市及び砺波市において、感染等防止のための捕獲いのしし等の埋設処分地を整備済
- 今回、新たに予備費を活用して、豚コレラ緊急対策事業（その 3）を実施し、7 市町（魚津市、黒部市、朝日町、上市町、立山町、高岡市、砺波市）での捕獲わなの増設等を支援【詳細は別紙 1】

## (3) 野生いのししへの経口ワクチンの散布

- 8 月 8 日（木）に、富山市婦中町千里地内（県畜産研究所敷地内）において、野生いのししへの豚コレラ経口ワクチンの先行散布を実施  
参加者 約 70 名（県職員、市町職員、猟友会会員）
- 上記先行散布に引き続き、8 月 13 日（火）より、富山県豚コレラ経口ワクチン対策協議会（県、市町、猟友会、農協中央会、全農富山県本部、獣医師会、養豚組合連合会等で構成）が実施主体となり、富山市、南砺市、砺波市、小矢部市及び立山町において、経口ワクチン散布を順次開始。

### ○野生いのししへの経口ワクチン散布状況

散布市町	散布地点	1 回目散布 個数（個）	1 回目 散布日
富山市	60 箇所	1,200	8 月 22 日
砺波市	20 箇所	400	8 月 14 日
南砺市	25 箇所	500	8 月 13 日
小矢部市	25 箇所	500	8 月 26 日
立山町	20 箇所	400	8 月 23 日
合計	150 箇所	3,000	

## 3 飼養豚へのワクチン接種に係る国からの意向調査への対応

- 農林水産省及び環境省主催で 8 月 9 日開催の「豚コレラまん延防止のための野生イノシシ対策等に係る関係県畜産担当部及び鳥獣対策担当部部長会議」において、飼養豚へのワクチン接種に係る各県の意向調査の依頼があり、8 月 20 日に農林水産省へ回答を提出
- 本県からの回答、報告、要請の主な内容は、【別紙 2】のとおり。

■ 豚コレラは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。  
 また、感染豚の肉が市場に流通することはありませんが、万が一、感染豚の肉を食べても健康に影響はありません。

## 豚コレラ緊急対策事業（その3）の実施について

令和元年 8 月 22 日  
農 林 水 産 部

豚コレラについては、県ではこれまで予備費を活用し、7月5日に発表した「豚コレラ緊急対策事業（その1）」として、①養豚農場への侵入防止柵の設置による防疫体制の強化、②検査強化のための機器導入等、③捕獲用わなの増設による野生いのししの捕獲強化に、また、7月31日に発表した「豚コレラ緊急対策事業（その2）」として、①捕獲した野生いのししの検査資材等の整備、②遠隔操作カメラの設置、③感染拡大を防止するためのいのししの埋設処分地整備、④捕獲強化活動費の県単上乗せ、⑤捕獲いのししの検査促進などに取り組んできたところです。

野生いのししの捕獲については、7月27日に富山市内で発見された死亡いのしし1頭から県内で初めて豚コレラの陽性反応が確認されて以来、猟友会や市町等関係の皆様のご協力のもと取組みを進めたところ、想定を上回る実績があがっており、この捕獲ペースの加速を図ることとしました。

このため、予備費を活用した第3弾の緊急対策として、「豚コレラ緊急対策事業（その1）」で捕獲用わなの増設を進めている富山市、南砺市に加え、7つの市町で捕獲用わなを増設するとともに、捕獲頭数の増加傾向に鑑み、「豚コレラ緊急対策事業（その2）」で実施した捕獲強化活動費の増額を行います。

## 【「豚コレラ緊急対策事業（その3）」の事業内容】

計 10,144 千円（予備費を活用）

- |   |  |          |
|---|--|----------|
| 1 | 野生いのししの捕獲の強化<br>7市町における捕獲わなの増設への支援<br>・実施予定の市町村<br>魚津市、黒部市、朝日町、上市町、立山町、高岡市、砺波市 | 4,124 千円 |
| 2 | 捕獲強化活動費の県単上乗せの増額<br>捕獲頭数の増加傾向に鑑み、「豚コレラ緊急対策事業（その2）」で実施した捕獲強化活動費を増額              | 6,020 千円 |

## 飼養豚へのワクチン接種に係る国からの意向調査に対する回答（8/20 提出）の主な内容

## 【回答・報告・要請の主な内容】

## (1) 予防的ワクチン接種に関する農家の意向

県内の養豚農家 19 戸が全てワクチン接種を要望している。

## &lt;接種希望の背景&gt;

- ・ 現在は、過去に豚コレラを正常化した時に比べ、野生いのししの生息数が桁違いに増えており、いのししに豚コレラがまん延している状況では、ネズミ、カラス、サシバエが媒介する可能性もあり、飼養豚へのワクチン接種をしないまま経営することはリスクが高すぎる。
- ・ 本県では、すでにいのししへの経口ワクチン投与を開始しているが、岐阜県、愛知県、福井県で、未だに養豚農場での発生がみられており、経口ワクチン散布による感染拡大防止効果には限界があると考える。

## (2) 考慮しなければいけない主な論点に関する県内の状況、県の意見等

## ア ワクチン接種を行うとした場合に必要となる豚の生体、肉・肉製品のトレーサビリティへの取組について

- ・ 食肉等のトレーサビリティは、家畜防疫上の国家としての基本的な方針に関わることであり、今回、飼養豚への豚コレラワクチンの接種を実施する場合においても、接種エリア、トレーサビリティについては、国の責任において方針、手法などを示し、主導的に実施していただきたい。

## イ ワクチン接種に係る費用負担について

- ・ 豚コレラのまん延防止は国の責務であり、飼養豚への豚コレラワクチンの接種は、国の責任、負担のもとで、国が主導的に対応していただきたい。

予備費を活用した豚コレラ対策の実施状況について（合計9, 414万円）

令和元年8月22日

	豚コレラ緊急対策事業（その1） 【7月5日発表】 3,800万円 養豚農場周囲への侵入防止柵の設置支援 (1,800万円)	豚コレラ緊急対策事業（その2） 【7月31日発表】 4,600万円	豚コレラ緊急対策事業（その3） 【8月22日発表】 1,014万円
防疫体制 農家の			
検査体制 県の	野生いのししの感染検査に必要な機器の整備 (1,033万円)	野生いのしし等の感染検査に必要な遺伝子検査機器・検査資材等の整備 (826万円)	
野生いのししの有害捕獲の強化	野生いのしし捕獲わなの増設への支援 <富山市、南砺市に105基> (968万円)	野生いのしし捕獲促進への支援 (1,055万円) ・ 遠隔操作カメラの設置 ・ 捕獲いのししの埋設処分地の整備への支援 県捕獲専門チームの増強 (700万円) ・ 富山市及び南砺市について1チームを2チームに増強 捕獲強化活動費の県単上乘せ (1,707万円) ・ 国の7,000円/頭に7,000円/頭を県で上乘せ	野生いのしし捕獲わなの増設への支援 (412万円) 7市町における捕獲わなの増設支援  捕獲強化活動費の県単上乘せの増額 (602万円) その2で実施した捕獲強化活動費を 増額